おおた さ・く・らうぉーく2020

「多摩川21世紀桜並木」（撮影：RGGさん）

3月20日（祝金）～4月10日（金）

おおたの桜スタンプラリー

すてきなプレゼントが当たる!!

大田の観光・特別編『大田の桜の名所』でご案内するスタンプ設置6ヶ所すべてのスタンプを集めて応募しよう!!

おおたの桜フォトギャラリー

デジカメで、スマホで、気軽に応募!!

大田区内の今年（2020年）の桜の写真を大田観光協会ホームページで募集します。どなたでもご応募いただけます（一人10点以内）。投稿された作品は大田観光協会のホームページや発行物等でご紹介！詳しくは、大田観光協会HPの応募ページをご覧下さい。

「養源寺」（撮影：えいじさん）

おおたの桜めぐりウォーク

大田区まち歩きネットワーク連携企画

詳しくは大田区まち歩きネットワークHP
https://www.o-2.jp/machiarukiをご覧ください。

詳しくは、3月15日発行の『大田の桜の名所』にてご案内いたします。
大田観光協会HPに掲載、または大田観光協会や区施設にて配布いたします。

イベントスケジュール ③④⑤

※掲載イベントは変更・中止になる場合がございます。実施については、各イベントホームページ等でご確認いただきますようお願いいたします。

3月	1(日)～29(日)	大森アートフェスタ2020 大森～馬込の一帯
	1(日)	馬込文士村巡りと川端龍子の絵画鑑賞 馬込文士村
	7(土)・8(日)	くりらぼマルシェ くりらぼ多摩川
	7(土)	第8回 スポGOMI池上大会 徳持小学校周辺
	8(日)	中原街道沿いを歩いて楽しむ「歴史と商店街さんぽ」 東急「武蔵小山」駅から勝海舟記念館
	14(土)	おおた和の祭典 大田区民プラザ
	14(土)	The PARTY 大田区産業プラザ
	29(日)	第9回 二十一世紀桜まつり 大田区民プラザ
4月	4(土)・5(日)	春まつり 池上本門寺
	5(日)	馬込文士村大桜まつり 桜並木公園、馬込桜並木通り
	19(日)	多摩川新緑マラソン 大田区民広場から緑地公園
	21(火)	禰宜の舞 天祖神社
	25(土)・26(日)	TOKYO CONOE FESTIVAL in OTA 2020 大森ふるさとの浜辺公園
5月	11(月)	水神祭 羽田沖
	中旬	春宵の響 洗足池公園

史跡の向こうにドラマが見える㉜

フィナーレは小津安二郎

蒲田撮影所

今から100年前、大正9年6月に松竹初の撮影所は蒲田で産声を上げ、15年の間に約1200作品を世に送りだし日本映画の近代化を推進した。その後、昭和11年6月更なる発展を求め大船に移転し蒲田撮影所は幕をおろした。

ところが閉鎖された筈の蒲田撮影所に若き日の小津安二郎が陣頭指揮を執り、彼にとって初めてのトーキー映画「一人息子」の撮影が続けられていた。何故、彼は大船に移ろうとはせず蒲田に残り、初のトーキー映画を手掛けていたのだろうか。そこには小津安二郎と一人のカメラマンの友情物語があった。

当時の小津安二郎の日記の抜粋である。「昭和6年に蒲田で『マダムと女房』を土橋兄弟が開発したトーキーシステムで作ってから皆、トーキーへと変わっていったのだが、僕にはある理由があってずっとサイレント（無声映画）で頑張っていた。それは私とタッグを組んでいたカメラの茂原君（モハラ）が自分でトーキーを開発しようとしていたので5年間待っていたのだよ」。

茂原英雄は大正9年蒲田撮影所開設と同時に撮影担当として入社。小津安二郎の監督2作目「若人の夢」（昭和3年）以来小津番カメラマンとしてなくてはならぬ存在となった。小津安二郎の戦前の傑作群、「大人の見る絵本 生れてはみたけれど」、「お嬢さん」、「浮草」はすべて茂原のカメラによって生まれた。

茂原は同時にトーキー技術に興味を抱き、撮影所が大船移転決定後も自らが蒲田に築いた研究所で開発を進め昭和11年に「茂原式トーキーシステム」を完成させた。

小津安二郎は盟友のトーキー技術の完成を祝う意味で、閉所後の蒲田撮影所で仲間とともに仕事を続けることにした。

茂原は当時をこのように語っている。「蒲田撮影所の華やかさを知っているだけに寂しさ、懐かしさもひとしおでした。だけど、妻であり出演者でもあった飯田蝶子はじめ坪内美子、吉川満子等の女優さんたちが夜食の炊き出しをしてくれて、それを小津さん、笠智衆さんたちと囲んで食べました。家庭的な雰囲気の中での仕事は忘れられません。小津さんには感謝の言葉しかありませんね。」

日本映画史に輝ける一時代を築いた「松竹キネマ蒲田撮影所」のフィナーレを飾ったのは、のちに世界の巨匠となった小津安二郎の初のトーキー映画だったのである。

岡 茂光

参考文献：「蓼科日記抄」蓼科日記刊行会編集

大田観光協会は会員の皆さま、地域の皆さまと大田の魅力をPRする活動をしています。

大田観光協会
（大田区産業プラザ2階）
大田区の「観光」についてのガイドや資料がご覧いただけるほか、見どころなどについて窓口で直接聞くこともできる"大田の観光"の情報発信基地！
(月)～(金)9～17時 (土)10～17時(休館日あり)

大田の観光 春
発行／一般社団法人大田観光協会
〒144-0035
東京都大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ2階
http://www.o-2.jp
TEL.03(3734)0202
FAX.03(3734)0203
大田観光協会 検索
やってます

大田の観光 春

一般社団法人 大田観光協会
2020.3 No.36

まちの石たちの記憶

協力：大田区教育委員会

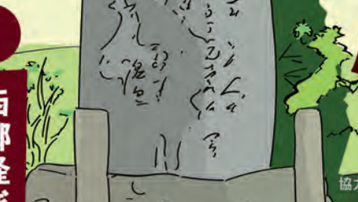
街の片隅で人知れず冷たい雨風にも堪え佇む石造物たち。そこにある理由は…？ ふと立ち止まって、それらに宿る記憶を覗いてみましょう。

3 石橋供養塔 区指定文化財

今も昔も行って帰る安全願う
現在の中原街道が呑川を渡る交差点付近に立つ。昔々の人が石橋の安泰と行き交う人の交通安全を想った証。
安永3（1774） 石川町2-8付近

2 光明寺石標兼道標

昔むかしの道の先を想像する
近くにある光明寺入口を示し「川崎大師」や「平間の渡し」、「目黒さる町道」など、五辺の交差点で道案内している。
嘉永4（1851） 千鳥3-12付近



1 西郷隆盛留魂詩碑

勝と西郷、江戸無血開城の記憶
幕末、江戸無血開城の立役者である二人の縁がここに。西郷の漢詩が刻まれた碑は、海舟により建立。大正2年に現在の勝海舟夫妻の墓所近くに移設された。
明治12（1879） 南千束2-14-5 洗足池公園内

7 六郷神社の狛犬 区指定文化財

二体を見比べると…
貞享2年に六郷中町の人々が奉納した狛犬は、区内最古で阿吽ともに揃っている点が珍しい。造形上も他に類をみない独創的なものである。
貞享2（1685） 東六郷3-10-18 六郷神社内

6 おしゃもじ様

暮らしを見守る市井の神様
道行く人を守ってくれる道祖神。しゃもじを供える特異な風習が今でも伝わっている。
享保12（1727） 南久が原2-26-20

5 海難供養塔 区指定文化財

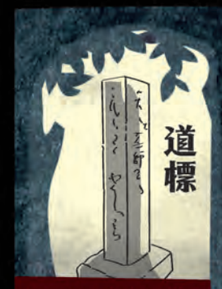
海で失われた命の記憶
海難事故で亡くなった人々を悼む塔。奉納者として江戸市中や神奈川に及ぶ漁業関係者、町人、武士、役者等300名の名が刻まれている。
安政2（1855） 大森東1-27

4 大森貝塚の碑（かいきょ） 国指定史跡

まさに日本考古学の記念碑
明治10（1877）年にE・S・モースにより発掘調査された日本考古学発祥の地。（石碑は9時～17時まで見学可）
昭和5（1930） 山王1-3

街で出会える こんな石造物

その地でなされた事業や人物・業績を銘分として刻み、後世に伝えるもの。



道標

江戸時代に街道など往来する人々の道案内の役割を果たした。その内容を見ると単に便宜のためだけでなく、庚申や地蔵、富士山などへの信仰が込められたものも多い。

供養塔

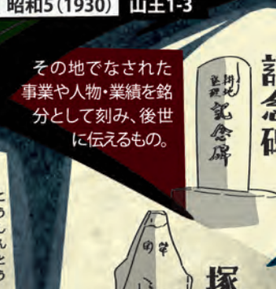
死者や祖先の追善供養や現世の諸祈願のために建てられ、石塔に仏像や梵字が見られる。個人の墓と異なり、複数の寄進者や講により建てられる。

地蔵

現世と冥界の間で人々の魂を導き救うと信じられた。広大な慈悲心によりどこででも人々を救済してくれる。石造物でも最も身近な存在。

庚申塔（こうしんとう）

庚申の晩に熟睡すると、三尸（かのえさる・さんし）という虫が罪を天帝に告げ口するとされ、その晩は眠らず寄り集まって夜を明かした。この庚申講の人々が築いたもの。



記念碑 塚

特別な意味のある場所に人工的に盛り上げた土や石の集積。その上に祠や塔や碑などを造立する場合も多い。